

平成25年における交通事故等の発生状況（速報）

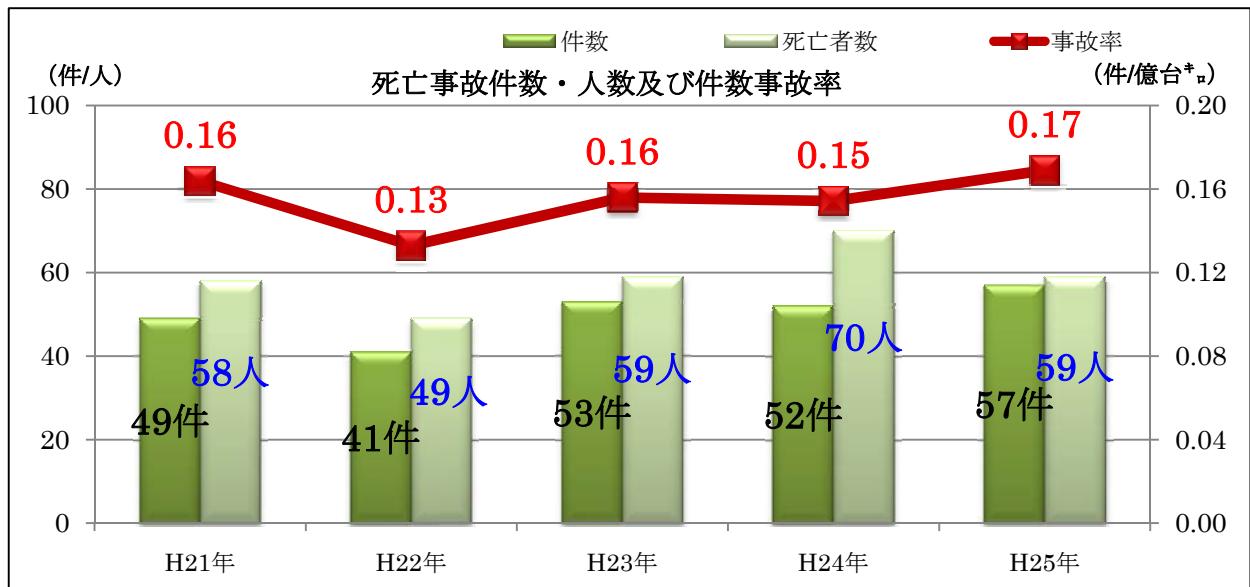
NEXCO東日本（東京都千代田区）管内における平成25年（1月1日～12月31日）に発生した交通事故等件数について取りまとめましたので報告いたします。

NEXCO東日本では、引き続き交通安全対策に積極的に取り組んでまいります。

注）資料中の値はNEXCO東日本の交通管理隊が対応した速報値を用いています。

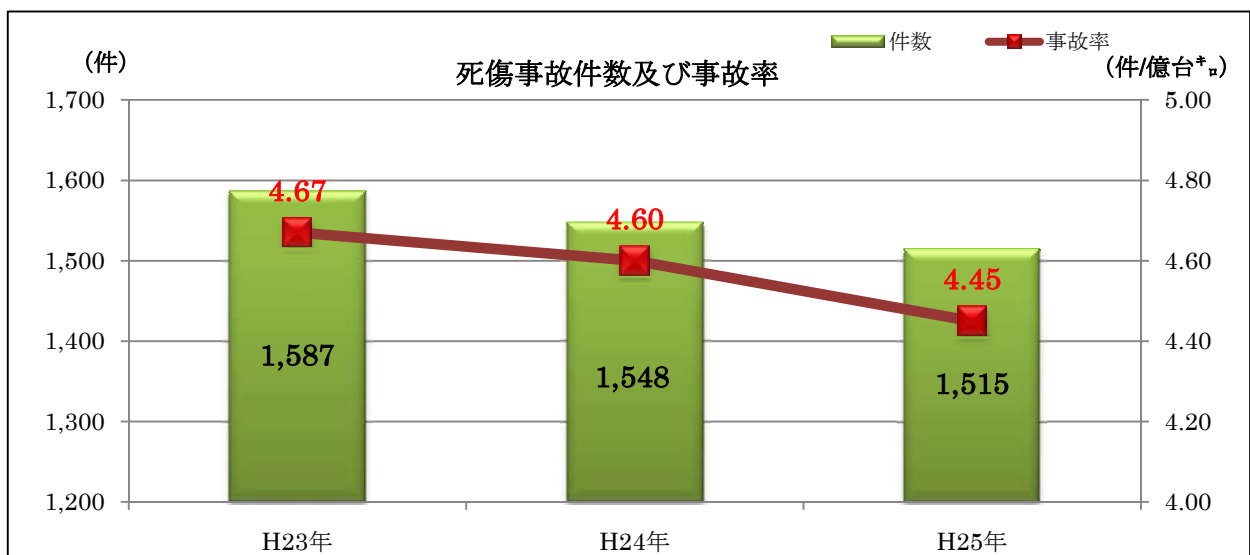
正しい交通事故統計については、警察の公開資料等を参照願います。

1. 死亡事故件数及び死亡事故率（過去5年間）



- ・ 死亡事故件数増加（+5 件）
- ・ 死亡事故人数減少（▲11 人）
- ・ 死亡事故発生率(事故率)増加（+0.02 件/億台^{*a}）

2. 死傷事故件数及び死傷事故率（過去3年間）



- ・ 死傷事故件数減少（▲33 件）
- ・ 死傷事故発生率(事故率)減少（▲0.15 件/億台^{*a}）

H25 死亡事故の要因・事例紹介

死亡事故要因のキーワードは・・・

人と車の事故

停止車両

車外放出

人と車の事故 10件/57件・11名/59名

事故・故障の際に高速道路上を歩きまわり、人が後続車に轢かれてしまう痛ましい事故多発！

発生	道路	事故概要
H25.3	上信越道	故障（燃料切れ）のため路肩に停止していたところ、後続の車が脇見運転をしていたため追突。 <u>車の前方（路肩）で待機していたところ撥ねられ死亡。</u>
H25.6	関越道	事故により追越車線に停止し <u>車の脇（走行車線側）に待機していたところ後続の車に撥ねられ死亡。</u>

停止車両 16件/57件・16名/59名

事故・故障・渋滞の末尾などの停止車両に追突し、死亡事故に至る痛ましい事故多発！

発生	道路	事故概要
H25.9	東北道	事故により <u>路肩に停止していたところ</u> 、後続の車が居眠り運転をしていたため追突。停止していた車の車内で待機していた乗員3名が、車外に投げ出され内1名死亡。
H25.11	関越道	故障（パンク）のため <u>追越車線に停止していたところ</u> 、後続の車が追突。後続の運転手が死亡。

車外放出 9件/57件・9名/59名

シートベルトをせず、車外放出され、死亡事故に至る痛ましい事故多発！

発生	道路	事故概要
H25.5	東北道	ハンドル操作を誤ったため蛇行し、路肩防護柵に衝突。反動で横転し追越車線に停止。 <u>後部座席の乗員が衝突の反動で車外に投げ出され死亡。シートベルト非着用。</u>
H25.6	東北道	タイヤがバーストしたことにより車体が振れ蛇行、ハンドル操作を誤ったためスピンし路肩防護柵に衝突。反動で乗員4名が車外に投げ出され1名死亡。3名重傷。4名ともにシートベルト非着用。

※車外放出は死亡事故に直結。シートベルトをしていないと、交通事故致死率は、シートベルト着用時の約10倍に跳ね上がります。

※H25.12月末現在の死亡事故件数（NEXCO東日本調べ）

高速道路における歩行者、自転車等の立入り防止対策について

これまでの取組み

NEXCO 東日本では、高速道路における「歩行者や自転車の立入り」の**通報**が、昨年度約 1,500 件、**1日当たり約4件**発生しています。通報の多くは首都圏近郊で発生しており、特に**京葉道路**で顕著となっています。歩行者等の立入りは、「**人と車の事故**」**につながり大変危険**であるため、従前より、啓発活動並びに看板や路面標示の設置などの立入り防止対策を積極的に実施しています。

高齢者等対策の強化

京葉道路では**年間約250件の通報**のうち、**保護された方の約半数が60才以上の高齢者**でした。平成25年より、高齢者や認知症者の行動特性を踏まえ、学識経験者からの上記助言をいただき、立入り防止対策の強化に努めています。

主な助言内容(行動特性)

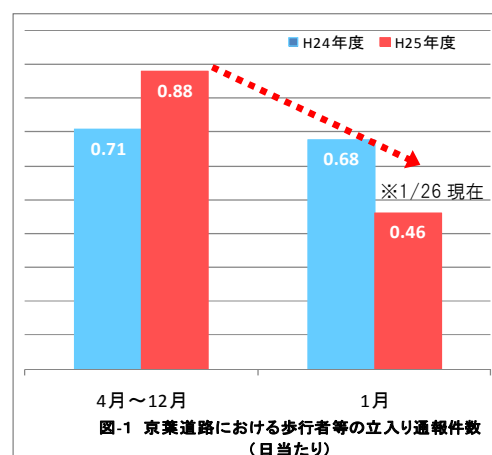
- ① 視野が下に向く
- ② 視野が狭くなる
- ③ 漢字判読機能が低下
- ④ 複数の情報が処理できない
- ⑤ 図、絵と文字の両方が必要



これまでの対策効果

現在までのところ、京葉道路の通報件数は、平成 25 年 4 月-12 月の 0.88 件/日から **0.46 件/日**と**大幅に減少**していることから、対策の効果が現れています。

引続き歩行者等の立入り状況に注視し、効果的な立入り防止対策に向けて取り組んでまいります。

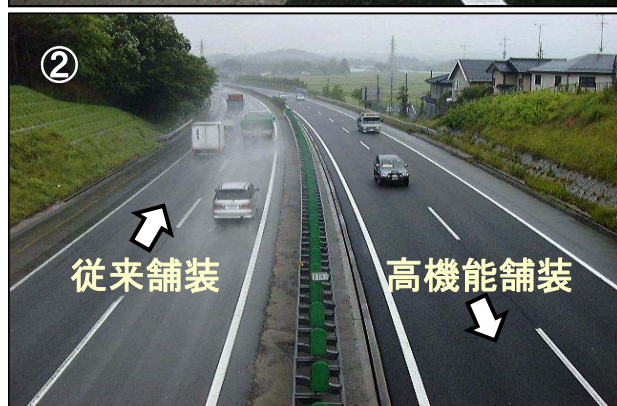


高速道路における安全対策について

NEXCO東日本では、従前より以下のとおり高速道路における安全対策を実施しています。
今後も更なる交通安全対策について積極的に実施していきたいと考えています。

○取り組みメニュー

- ① 夜間の事故防止対策としての高視認性区画線及び対面通行区間の安全対策工(凹凸型路面標示)の推進
- ② 雨天時の事故防止対策としての高機能舗装の推進
- ③ 冬季の事故防止対策(自発光スノーポール)の推進
- ④ 強化型防護柵設置の推進
- ⑤ 警察や地域と連携して交通安全啓発活動(交通安全キャンペーン)・各種交通安全講習会
- ⑥ 高速道路における歩行者、自転車等立ち入り防止対策



⑤-2: マナーアップキャンペーン

HEARTFUL HIGHWAY みんなのハイウェイに、みんなのマナーを。

NEXCO東日本では、お客さまからお寄せ頂いたご意見をもとに「知ってほしいルール」や「気づいてほしいマナー」をお伝えするために、マナーアップキャンペーンを展開しています。



マナーアップキャラクター
「マナーティ」



高速道路のマナーBOOK配布



マナーティ(マンモン博士と一緒に)

⑤-3: 各種講習会

事故・故障など緊急時の対応方法や、高速道路走行時の注意点等について、知って頂くことで、高速道路を安全・快適にご利用いただくお手伝いをしています。

高齢者向け、子供向け、企業向け、自動車教習所など、ニーズに応じた講習会を無料で開催しています。(H25.4~12月実績: 114回・約4900名が受講)

また、今月18日(土)には、「パリダカールラリーの総合優勝者”篠塚建次郎氏”を講師にお迎えし、「ウインタードライビングスクール in Naeba」を開催しました。今シーズンは、来月2月7日(金)にも、福島県の「星野リゾート アルツ磐梯」で開催予定です。



・高齢者向け講習会の様子



・企業向け講習会の様子



・篠塚建次郎氏ウインタードライビングスクール

【ウインタードライビングスクールの開催 (東北支社主催)】

- 1、開催日時: 平成26年2月7日(金) 10:00~
- 2、開催場所: 星野リゾート アルツ磐梯
- 3、講師: パリダカールラリー総合優勝 篠塚建次郎氏
- 4、内容: ①雪道安全運転講習会、②雪道安全運転実技講習
- 5、協力機関: 福島県警察 高速道路交通警察隊

※当日の取材希望の方は、事前にご連絡をお願いします。

取材の方にも実技講習などを体験していただけます。


詳しくは、下記までお問い合わせください。

【報道関係者専用】NEXCO東日本 東北支社 広報課(報道担当)

Tel.022-217-1706 (9:00-17:25)




⑥-1: 歩行者、自転車等立入り防止対策




②警告灯付きポール

①イラストを用いた路面シール

高速道路出入口部の路肩に
①イラストを用いた路面シール・②警告灯付きポール
※京葉道路無人ランプ



(高速道路出入口部に進入禁止看板)



(高速道路出入口部に通行禁止の路面表示)

⑥-2: 歩行者、自転車等立入り防止の啓発活動

■ポスター・チラシ配布



■情報板・ラジオ広報



(放送内容)
～交通情報の提供後～
なお、最近、歩行者や自転車の立入りが多く発生しています。前方に注意して安全運転をお願いします。

■休憩施設での広報



■弊社ホームページ



■新聞掲載(千葉日報)



■沿線自治体等と連携した啓発活動(広報誌、ホームページへの掲載)

●「広報えどがわ(10/1号)」



●「広報いちかわ(7/20号)」



●「船橋市」HP

